

V 「カリキュラム・マネジメントについて」

1 カリキュラム・マネジメントに関わる各項目
の見直し（検討）の状況

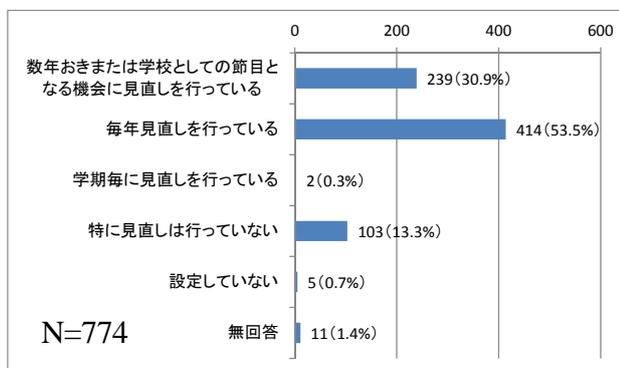


Fig. 1 「学校教育目標」の見直し（検討）の状況

各項目の件数を総回答件数（N=774）で除したものに100を掛けて小数第2位を四捨五入した（以下の質問項目についても同じ処理を行った）結果、「学校教育目標」の見直し（検討）の状況は、「毎年見直しを行っている」と回答した割合が最も高く、414件（53.5%）であった。

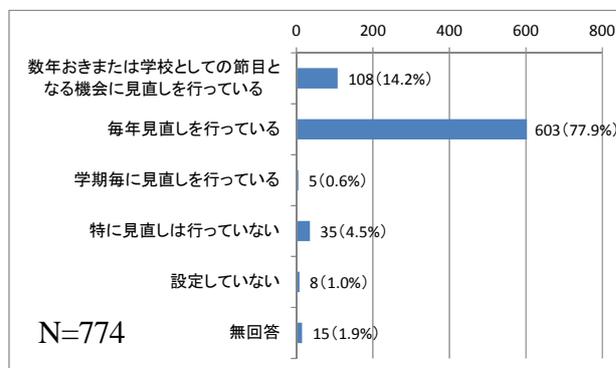


Fig. 3 「学部（教育）目標」の見直し（検討）の状況

「学部（教育）目標」の見直し（検討）の状況は、「毎年見直しを行っている」と回答した割合が最も高く、603件（77.9%）であった。続いて割合が高かったのは、「数年おきまたは学校としての節目となる機会に見直しを行っている」と回答した108件（14.2%）であった。

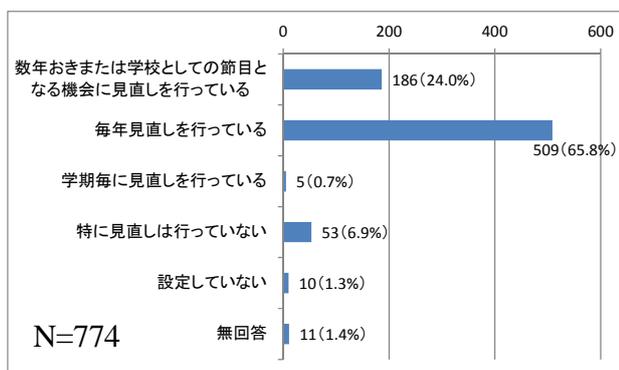


Fig. 2 「学校教育目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の見直し（検討）の状況

「学校教育目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の見直し（検討）の状況は、「毎年見直しを行っている」と回答した割合が最も高く、509件（65.8%）であった。

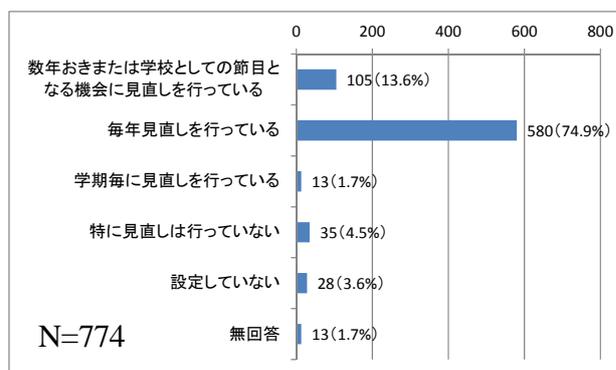


Fig. 4 「学部（教育）目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の見直し（検討）の状況

「学部（教育）目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の見直し（検討）の状況は、「毎年見直しを行っている」と回答した割合が最も高く、580件（74.9%）であった。

2 カリキュラム・マネジメントに関わる各項目の修正・変更の状況

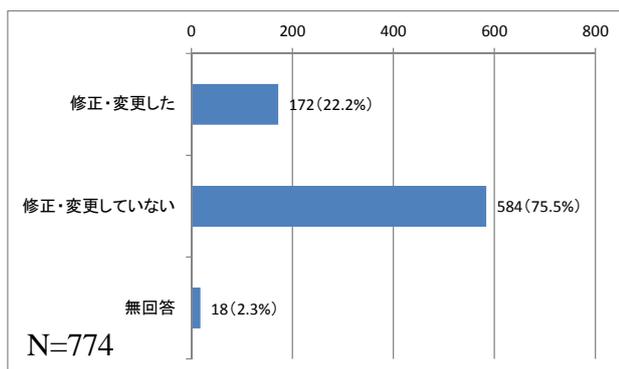


Fig. 5 「学校教育目標」の修正・変更の状況

「学校教育目標」の修正・変更の状況は、「修正・変更していない」と回答した割合が最も高く、584件（75.5%）であった。「修正・変更した」と回答した割合は、172件（22.2%）であり、全体の5分の1程度の学校では、学校教育目標が修正・変更されていた。

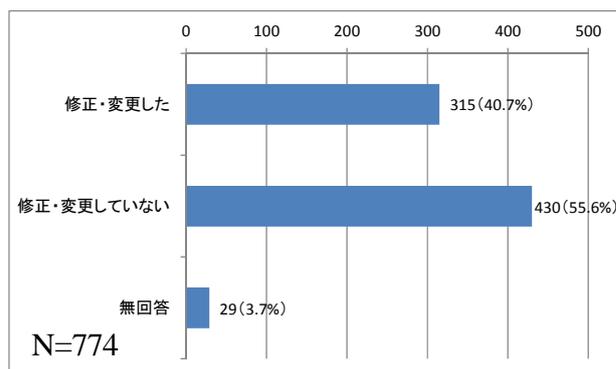


Fig. 7 「学部（教育）目標」の修正・変更の状況

「学部（教育）目標」の修正・変更の状況は、「修正・変更していない」と回答した割合が最も高く、430件（55.6%）であった。一方で、「修正・変更した」と回答した割合は、315件（40.7%）であった。

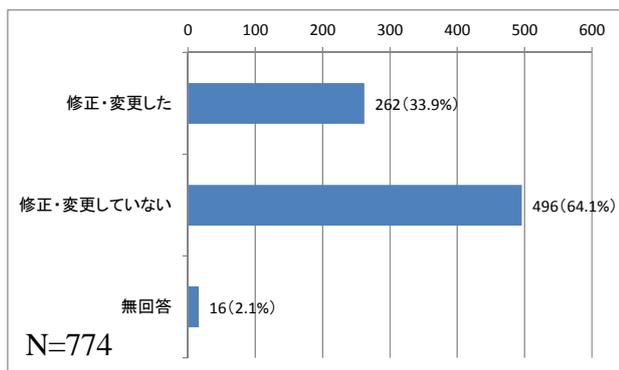


Fig. 6 「学校教育目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の修正・変更の状況

「学校教育目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の修正・変更の状況は、「修正・変更していない」と回答した割合が最も高く、496件（64.1%）であった。「修正・変更した」と回答した割合は、262件（33.9%）であり、全体の3分の1程度の学校で、『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」が修正・変更されていた。

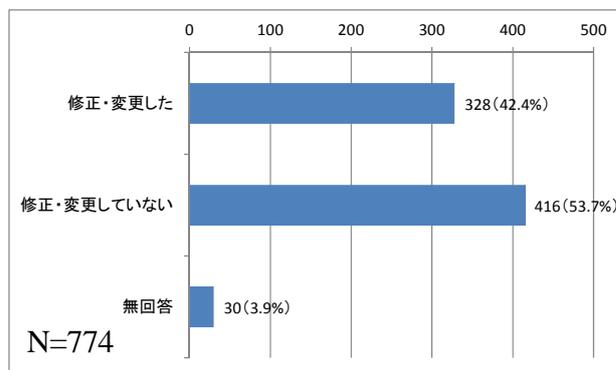


Fig. 8 「学部（教育）目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の修正・変更の状況

「学部（教育）目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」の修正・変更の状況は、「修正・変更していない」と回答した割合が最も高く、416件（53.7%）であった。「修正・変更した」と回答した割合は、328件（42.4%）であった。

3 教育課程を管理・運営する校内組織（委員会・会議等）の有無

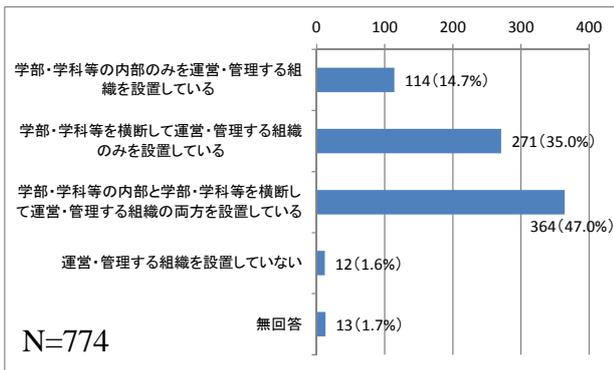


Fig. 9 教育課程を運営・管理する校内組織（委員会・会議等）の有無

学部・学科等の内部と学部・学科等を横断して運営・管理する組織の両方を設置している」と回答した割合が最も高く、364件（47.0%）となっていた。次いで割合が高かったのは、「学部・学科等を横断して運営・管理する組織のみを設置している」と回答した学校で、271件（35.0%）となっていた。

4 学校全体の教育課程の改善状況

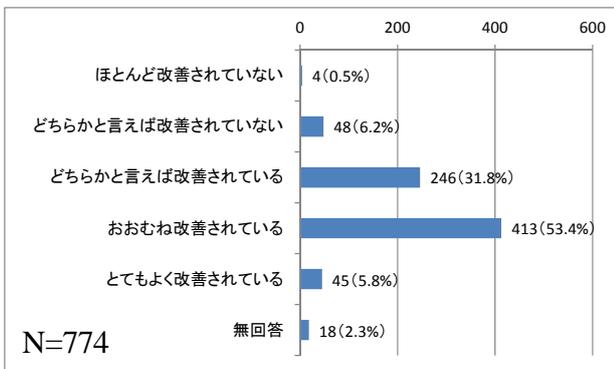


Fig. 10 学校全体の教育課程の改善状況

「おおむね改善されている」と回答した割合が最も高く、413件（53.4%）となっていた。次いで、「どちらかと言えば改善されている」と回答した割合が246件（31.8%）であった。「とてもよく改善されている」と回答した45件（5.8%）を合わせると、全体の90%は改善されていると回答していた。

5 学校教育目標→教育内容（何を学ぶか）→指導方法（どのように学ぶか）→学習評価の一体的なつながりをもたせるために、学校として特に工夫している点

自由記述による回答を求めたところ、351件の回答が寄せられ、記述内容のまとまりにより583のセンテンスに分類された。

これらの回答には、「学校経営の理念・ビジョンの明示」、「全体計画・年間指導計画等の作成や書式の工夫」、「教育課程構造図などの作成による視覚化」、「シラバスや指導内容表の作成」、「教育課程検討委員会の設置」、「教育課程改善をテーマとした研究の実施」、「単元計画レベルでの関連項目の記述や書式の工夫」、「授業改善を中心とした授業研究会の開催」、「学習指導案の工夫」、「個別の指導計画の充実や学習評価・通知表との連動」、「教育課程の編成・実施に関する研修会の実施」等の様々な工夫がみられた。

6 個別の教育支援計画への合理的配慮の記載状況

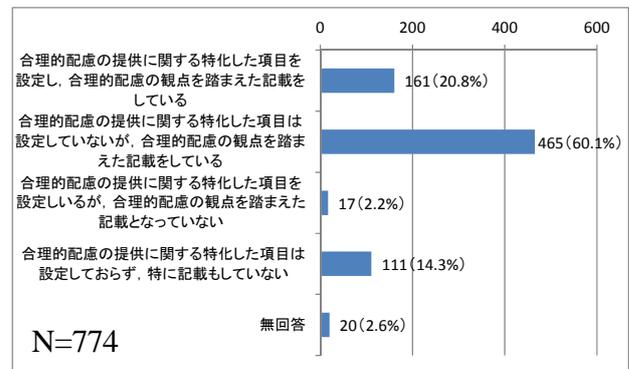


Fig. 11 個別の教育支援計画への合理的配慮の記載状況

最も回答の割合が高かったのは、「合理的配慮の提供に関する特化した項目は設定していないが、合理的配慮の観点を踏まえた記載をしている」の465件（60.1%）であった。「合理的配慮の提供に関する特化した項目を設定し、合理的配慮の観点を踏まえた記載をしている」学校は161件（20.8%）であった。

7 教育課程を管理・運営する校内組織（委員会・会議等）の有無の経年変化

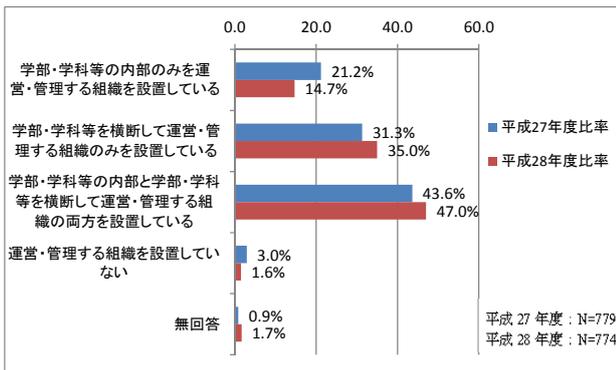


Fig. 12 教育課程を管理・運営する校内組織（委員会・会議等）の有無の経年変化

前年度との比較では、わずかではあるものの平成28年度において、「学部・学科等を横断して運営・管理する組織のみを設置している」と回答した学校や「学部・学科等の内部と学部・学科等を横断して運営・管理する組織の両方を設置している」と回答した学校の割合が高まっていた。組織を横断した、あるいは重層的な教育課程の管理・運営を行う学校が増加している傾向がみられた。

8 学校全体の教育課程の改善状況の経年変化

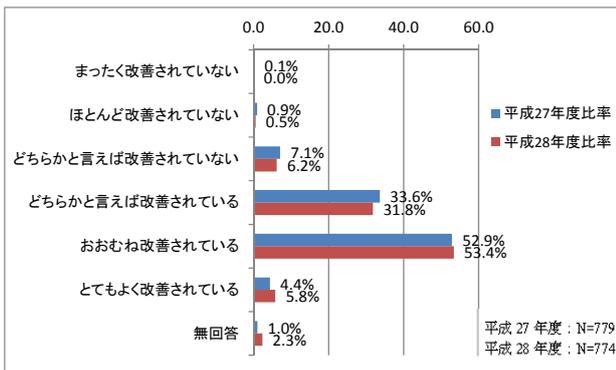


Fig. 13 学校全体の教育課程の改善状況の経年変化

平成27年度と平成28年度の「学校全体の教育課程の改善状況」の経年変化をみたところ、回答の割合に大きな変化は見られなかった。

9 考察

1) 教育目標等の見直し（検討）の状況

すべての項目で「毎年見直しを行っている」と回答した割合が最も高くなっていったが、「学校教育目標」よりも「学部（教育）目標」の見直しの比率が高く、下位組織の目標ほど見直しや検討が図られている状況が明らかとなった。

2) 教育目標等の修正・変更の状況

すべての項目で「修正・変更していない」と回答した割合が最も高くなっていった一方で、「修正・変更した」割合に着目すると「学部（教育）目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」が最も高く、その後に「学部（教育）目標」→「学校教育目標を踏まえた『育てたい子供像』や『つきたい力』等の児童生徒に育成すべき資質・能力」→「学校教育目標」の順となっており、下位組織に位置づく資質・能力ほど修正・変更が行われやすいことが明らかとなった。

3) 学校全体の教育課程の改善状況

Table1 教育課程の校内管理組織の状況と学校全体の教育課程の改善状況のクロス表

	学校全体の教育課程の改善状況					合計
	ほとんど改善されていない	どちらかと言えば改善されていない	どちらかと言えば改善されている	おおむね改善されている	とてもよく改善されている	
教育課程の校 内管理 状況	0	10	41	47	15	113
学部・学科等の内 部と学部・学科等 を横断して運営・管理 する組織のみを設 置している	0.0%	21.7%	17.1%	11.5%	33.3%	15.2%
組織の 状況	0	19	101	138	11	269
学部・学科等を横 断して運営・管理 する組織のみを設 置している	0.0%	41.3%	42.1%	33.8%	24.4%	36.3%
学部・学科等の内 部と学部・学科等 を横断して運営・管理 する組織の両 方を設置している	3	17	98	223	19	360
学部・学科等の内 部と学部・学科等 を横断して運営・管理 する組織のみを設 置している	100.0%	37.0%	40.8%	54.7%	42.2%	48.5%
合計	3	46	240	408	45	742
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「学部・学科等の内部と学部・学科等を横断して運営・管理する組織の両方を設置している」と回答した学校の改善の度合いが「学部・学科等を横断して運営・管理する組織のみを設置している」と回答した学校に比較して高くなっていった。より重層的な教育課程の管理・運営を行う学校が改善の度合いが進んでいると回答する傾向がみられた。

Table2 クラスカル・ウォリス検定(Kruskal Wallis test)

水準	学部・学科等の内部のみを運営・管理する組織を設置している	学部・学科等を横断して運営・管理する組織のみを設置している	学部・学科等の内部と学部・学科等を横断して運営・管理する組織の両方を設置している
n	113	269	360
平均順位	364.68	348.13	391.11

$\chi^2=7.9$, $df=2$, $p=0.019$